

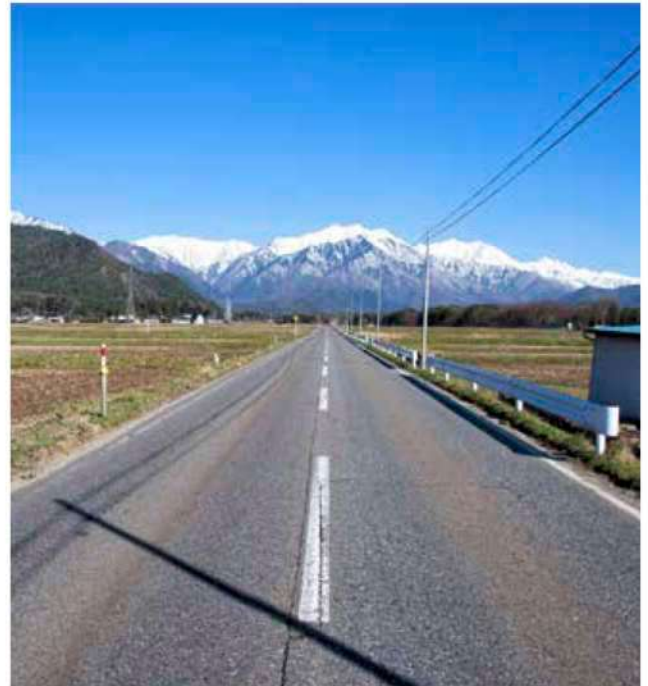


長野県支部だより

厳しい寒さと温泉と…

冬の信州といえば「雪国」という印象をお持ちの方もいらっしゃるかと思いますが、南北に長い長野県は場所によって冬の気候にも違いがあります。県の北側は新潟県に近く、雪も多く降り日本海側の気候です。一方、長野県支部がある南信地域は県の南部に位置し、太平洋側気候のため晴天の日が多く、近年は雪が降っても十数センチ、雪掻きは一冬で2、3回程度です。

降雪が少ないかわりに、寒中の寒さは厳しく最低気温は氷点下が当たり前です。信州では寒いことを「凍みる(しみる)」と言い、まさに凍てつく寒さですが、その分空気が澄んでいて山並みがくっきり見えます。冬の青空と日本アルプスの真っ白な雪山のコントラストに魅了されます。



冷えた体を温めるには温泉が一番。スノーモンキーで世界的に有名になった地獄谷を含め、湯量と泉質を誇る多くの温泉があります。

そして長野県は日帰り温泉施設数日本一です。南信地域は各市町村に日帰り温泉施設があり、長野県支部の近くにも荒神山(こうじんやま)温泉があります。

温泉で心も体も温め、癒されながら、寒さに耐えて光の春を待ちます。

